

地域おこし協力隊



念願の醤油仕込み！

私が道志村に来てずっとやりたかった醤油仕込み

みをおこなうことができました！
麦を炒り、大豆を煮て、3日3晩穴蔵で麴が黄色くなるまで寝かせる過程を経て、来春に試食しようと思います。



の時間を考えると、「醤油を買う」ことがいかに簡単なことかがよくわかりました。それでも、道志の文化と言える醤油づくりを大切に、今後はたくさんの方に広めていきたいと思えます。

今回の醤油仕込みは私一人では到底できないことでした。ご理解とご協力いただいた地域の方々のおかげです！ありがとうございます。醤油を搾る際にはぜひ味見にいらしてください！（中島拓哉）



竹之本の穴蔵（上）／麴の手入れをするところ（中）／真っ黄色になった麴（下）

4月



月から、都留文科大学の学生や横浜の学生が、道志村に林業などの体験に来ています。その際に印象的だったのは、今の時期水路で見られるアズマヒキガエルがとても人気者だったことです。カエルを見た途端、驚くほど皆の表情がいきいきとして、場が盛り上がります。生きものの姿は、見る人にインパクトを与える力があること、その魅力をあらためて感じました。生きものに出会えることを活かした体験が提供できないか、考えていきます。（香西恵）

4月



月17日野原集落では山の神のお祭りが行われました。熊野神社の手前にある祠に参拝し、祝詞奏上、玉串奉奠等の儀式を行いました。無事お参りを終えると、村田組長宅に集合し様々な話合いがされた後、お神酒で乾杯し祝宴が開かれました。

まだ野原に来て間もなくの昨年八月の熊野神社のお祭り、そしてこの山の神のお祭りにも参加させて頂き、本当にありがたいと思っています。自分の住む野原のためにはやるべきこと、新しいことを思いを新たにしました。（千々輪岳史）

雪



も解け、畑も始まりました。じゃがいもを植え、野菜の苗作りをし、5月に入ってから定植を開始する予定です。

今年度も様々なことにチャレンジしていきます。「どうしピクルス」の販路開拓や、野菜の収穫体験、直売所での販売、竹ランプの商品化などを通じて道志村をPRしてまいります。地域活性はもちろんの事、道志村での若者の定住事例として道を切り開いていけたらいいと考えています。やること満載で忙しいですが、道志村での暮らしを楽しみながら活動しています。（井口陽介）

協力隊



の活動も2年目に突入しました。日々の活動も充実しています。

かねてから検討していた「協力隊活動報告会」を6月頃、実施する目処が立ちました。どこで何をやっているのか、なかなかつかみにくい協力隊の活動です。

日頃お世話になっている皆さんに感謝を込め、活動開始から1年を振り返り、5人のお話を聞いて頂く場を設けます。詳細は決定後、ご連絡します。（大野航輔）